

東日本ユニオン よこはま

JR 東日本労働組合
横浜地方本部
発行者/ 松田 和秀
編集者/ 教育・広報部

申第8号「2018年度賃金改善に関する申し入れ」 中央本部は2月20日に申し入れを行う！

2018年度賃金改善に関する申し入れ

すべてのJR労働者は、JR東日本グループの発展を通じて自らの生活の向上を実現すべく、経営側の掲げる「横断的重点課題」を我が物として日々の業務と向き合ってきました。

「安全・安定輸送のレベルアップ」に対しては「職場の小さな事象を見逃さない」目を養うことを通じて安全上の弱点を克服し、主体的に事象の再発防止に努めてきました。「収益力向上への挑戦」に対しては「安全」を源に鉄道ネットワークの価値を高める努力を職場の最前線で推し進め、お客さまから選ばれる鉄道を実現させています。そして、これらを包括した上でJR労働者自らが仕事の変革を担い、質を高めることを通じて「TICKET TO TOMORROW～未来のキップを、すべてのひとに。～」を推進し、企業価値を高めてきました。

こうしたJR労働者の努力によって、グループの業績は右肩上がりが続いています。1月30日に発表された「2017年度第3四半期決算」も連結・単体とも増収増益を示すとともに、営業収益で6期連続の増収かつ過去最高、経常利益および四半期純利益も過去最高を示しました。

経営側はこの大きな成果を生みだしたすべてのJR労働者に対し、その「労働力の価値」に相応しい賃金を支払う責務があります。

JR労働者の賃金実態は未だ適正値とは言えません。4年連続の賃金改善を経ても生活は向上に至らず、上昇し続ける生計費も家計の先行きを不透明にし続けています。

「無限の可能性」を追求し、次代のJR東日本グループをつくるためには、自らの質の向上を通して結果を出し続けるJR労働者が「働き甲斐」と「生活に対する安心感」を実感する賃金が不可欠です。

したがって下記の通り申し入れますので、経営側の真摯な回答を要請します。

1. 基本給ならびに初任給を、社員一律6,000円引き上げること。
2. 定期昇給を実施すること。昇給係数は4係数とすること。
3. グリーンスタッフの基本賃金を、一律6,000円引き上げること。
4. エルダー社員の基本賃金改善に関して、別途議論に応じること。